



▲指導隊員や駐在所署員に正しい自転車の乗り方を学ぶ米谷小児童

## 東和で交通安全教室 ルールを守って命を守る

交通規則を守って、安全な歩行と自転車の乗り方を学ぶ「交通安全教室」が4月13日、米谷小で行われました。実際に自転車に乗って行う実地訓練には、4～6年生の児童が参加。校庭に作られたコースを、東和町交通指導隊員や東和駐在所署員に指導を受けながら、真剣な面持ちで左右を確認しながら、安全に自転車を走行させました。自転車通学をしている及川莉穂さん（6年）は、「普段は前後左右の確認をあまりしていませんでしたが、これからはしっかりと守っていきたいです」と話していました。

## 米山「平筒沼ふれあい公園」で生中継 幻想的な世界をたっぷりと

沼の周囲を600本の桜が咲き誇る花見の名勝地、さらには県内でも有数のヘラブナ釣りのポイントで知られている平筒沼ふれあい公園が、「NHK地域情報番組てれまさむね」で4月17日に生放送されました。県内の桜の開花状況をレポートする、「桜前線」というテーマで中継。14日から開催した桜まつりの期間中に、ライトアップされて沼の水面に映し出された桜の様子や、花を見ながらヘラブナ釣りを楽しむ人たちのインタビューなど、平筒沼の自然と魅力をたっぷりと伝えてもらいました。



▲ライトアップされて沼の水面に映し出された桜を撮影するスタッフ

## 津山でバドミントン大会 スポーツを通して地域交流

津山地区住民バドミントン大会が3月15日、津山若者総合体育館で開催されました。バドミントンを通じた社会体育の振興と、参加者がスポーツを楽しみながら交流することを目的に開催。小中学生とその親子20人が参加しました。試合はダブルスで、10チームが2ブロックのリーグ戦を行い、ブロックごとに上位チームを決定しました。参加者の中には、初めてバドミントンをする子どももいて、ルールは実戦で学び、試合を重ねるごとに楽しみながら心地よい汗を流していました。



▲親子で心地よい汗を流しながらバドミントンを楽しみました

## 中田でこいのぼり掲揚 風になびく住民の善意

「こいのぼり掲揚」（浅水コミュニティ運営協議会主催）が4月14日、中田町浅水地区で行われ、サイクリングロードへのアクセス道路約200mに、大小さまざまなこいのぼり約150匹が心地よい風に揺られて泳いでいます。同地区のこいのぼり掲揚は、子どもたちが元気にたくましく成長することを願い、平成6年から実施して今年で14年になります。こいのぼりは、寄付や家庭で使われなくなったものを再利用しています。5月10日まで掲揚されていますので、ご家族皆さんでぜひお越しください。



▲国道398号からも気持ちよく泳ぐこいのぼりの姿が見られます



▲増築校舎の完成をテープカットで祝い本格始動した豊里小・中学校

## 豊里で「豊里小・中学校」増築校舎の落成式 校舎が一つになって本格始動

小中一貫校の豊里小・中学校で4月9日、増築校舎の落成式が催され、関係者によるテープカットで完成を祝いました。体育館で行われた式典では、布施市長が「明るく伸びやかに自分の目指す未来に向かって羽ばたいてください」とあいさつ。その後、同会場で新一年生となった56人の入学式が行われました。小・中校舎が一体型となった小中一貫教育は、1～9年生の児童生徒556人で本格的にスタート。新しい遊具で遊ぶ小学生や部活動に励む中学生の両方が見られ、校内には明るい声が響いています。

## 古くから親しまれる伝統行事 迫で「佐沼互市」を開催

恒例の佐沼互市が4月18日から20日までの3日間、津島神社境内で開催されました。互市は毎年春と秋に開催され、季節の草花や植木、金物や竹細工などの工芸品、漬け物などの農産加工品、日用雑貨などを扱うさまざまな露店が建ち並び、毎年たくさんの人でにぎわいます。今年もお目当ての商品を買い求めようと、市内外から多くの人が集まりました。世話人代表の三浦義勝さん（迫）は、「この互市は、季節の恒例行事として古くから市民に親しまれています。今後も続けていきたい」と話していました。



▲津島神社境内に露店が建ち並び多くの人が集まった佐沼互市